

にけーしよん

5/6 素晴らしい歌声をプレゼント!

以前、広報あいなん 平成21年8月号でご紹介した、愛南町出身で東京を中心に活躍しているソプラノ・シンガー「礼奈」さんによる「ミニコンサート」が県立南宇和病院で行われ、外来や入院患者の皆さんに素晴らしい歌声をプレゼントしました。

「礼奈」さんは、東北太平洋沖地震発生後、各地で精力的にチャリティー活動を行っており、今回、松山市でのチャリティーコンサートにあわせて里帰りし、県立南宇和病院のほか、特別養護老人ホーム城辺みしま荘など町内の福祉施設でもミニコンサートを行いました。

また、今年の3月にはCDデビューも果たし、クラシックの枠に捉われず、自由な発想と想像力で独自の旋律を奏でる音楽活動をしています。今後の活躍が期待されます。



5/13 豊作を祈って!お田植え祭り

柏地区の金峯神社近くの神田で恒例の「お田植え祭り」が行われ、かすり姿の可愛い早乙女12名と男子児童10名(柏小4~6年生)が、豊作を祈りながら田植えを行いました。

テレビ局やアマチュアカメラマンなど多くの見物客に見守られる中、素足でおそろおそろ田んぼに入り、横一列に並んで慣れない手つきで数本ずつ丁寧に植え付けました。この日に植えた苗は秋に収穫され、地区の祭りなどに使われます。



本日!海日和!!

「水深30mのジューンブライド」

6月の花嫁は幸せになれるといううわさがありますが、ガイアナやユメカイナが発着している瀬ノ浜の水深30mでも、着々と結婚式の準備が進められているようです。

アカオビハナダイは、名前のとおり、赤い帯の模様が特徴です。小さなときは全身がオレンジ色をしていますが、大きく成長するにつれ、赤い帯の模様が表れます。美しい真紅の帯は、まるで色打掛を着た花嫁のようです。

美しい帯が表れるのは、結婚の準備ができた証ですが、実は雌から雄へと変身した証でもあるのです。ハナダイの仲間は、性転換する魚として有名です。生まれたときはすべて雌ですが、大きく成長すると雄に性転換して群れを率いるのです。

華麗なる変身をして結婚を待っているアカオビハナダイが、未永く暮らせる環境を残していかなければなりませんね。

(2011.5.21 瀬ノ浜 水深30m)環境省自然公園指導員 西尾知照



愛南こみゆ

4/23・30 B&G御荘海洋クラブ活動開始!水の安全教室! B&G



御荘B&G海洋センターで、御荘湾での海洋性スポーツ開始に備えて、プールでカヌー・OPヨットの体験会と、水の事故ゼロをめざして安全教室を行いました。

B&G御荘海洋クラブでは、随時会員を募集しています。お気軽に海洋センター(TEL72-1117)まで問合せください。

4/24 被災地へ届け!友情の篠南こいのぼり!

子ども達の健やかな成長と県境を越えた友好の絆を深めようと、正木保育所保護者会(毛利陽子会長)と地元の地域おこしグループ「篠山クラブ(毛利洋一会長)」のメンバー約40名が、恒例の「こいのぼりの渡し」を実施しました。

篠川を挟んで、愛媛・高知両県の山と山に渡された約200mのワイヤーに取り付けられた「こいのぼり」は、さわやかな春風に乗って気持ちよく泳いでいました。

また今回は、東日本大震災の被災地へ思いを届けようと、「東北がんばれ」「TOHOKU FIGHT!」とメッセージを書いたこいのぼりも取り付けられました。



5/6 里山を体験!船っ子タイム

緑・僧都地区で、船越小学校「船っ子タイム」学習が行われ、同校児童が里山の暮らしを体験しました。

緑地区の孝野覚也さんの畑で愛南ゴールドやイチゴの収穫を体験、続いて僧都ふれあい交流館で愛南グリーン・ツーリズム推進協議会(前田アイ子会長)などの協力により、カツオの炊き込みご飯などカツオ尽くしの郷土料理に挑戦しました。

また午後からは、僧都地区の久能二三男さんの田んぼで、僧都小学校の児童と一緒に田植え作業を体験して交流を深めました。

